

The background of the slide features a complex network visualization. It consists of numerous nodes, represented by small circles in various colors (blue, purple, red, yellow), interconnected by thin lines. Overlaid on this network are several large, semi-transparent contour lines in shades of blue and purple, suggesting a heatmap or a field of influence. The overall aesthetic is technical and data-driven.

VALUENEX
intellectual innovator

2019年7月期第3四半期 決算補足説明資料

2019年6月12日

VALUENEX株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

1

事業概要

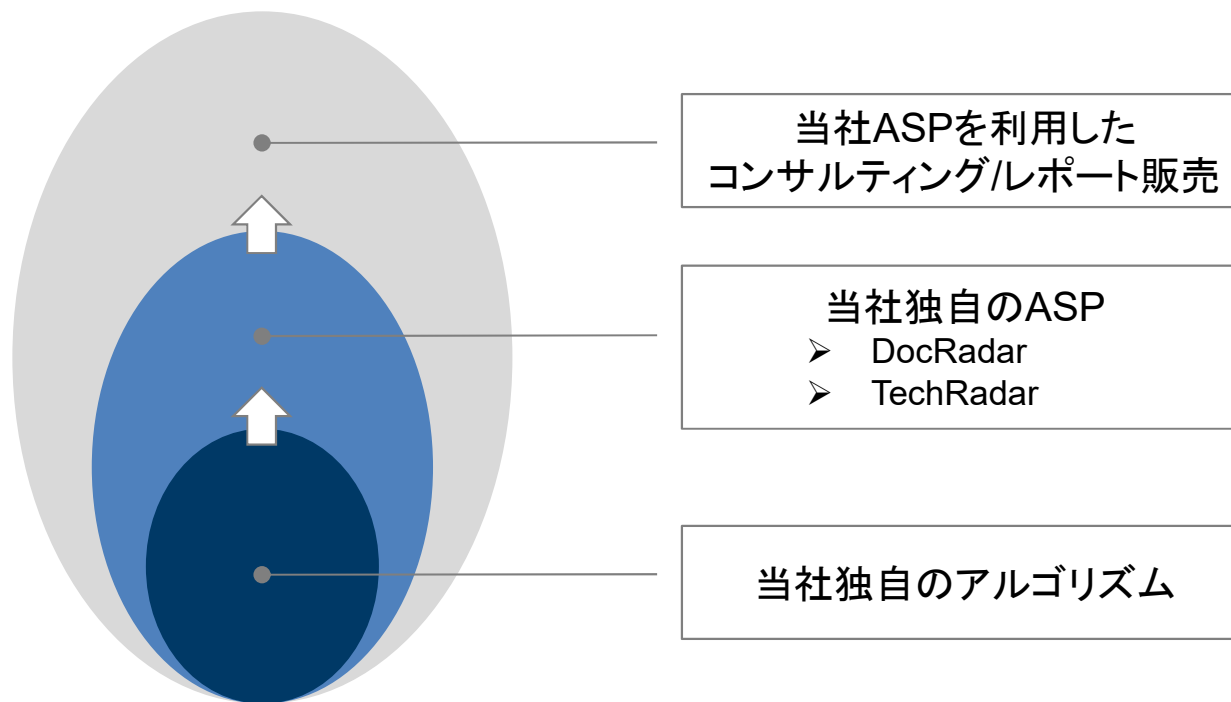
2

2019年7月期第3四半期業績報告

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム^{注1}は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、2つの販売形態を展開しております。

- 1) 当該アルゴリズムに基づく**ASP^{注2}**
- 2) 本ASPを活用した**コンサルティング/レポート販売**



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス)^{注3}に应用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1: アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。

注2: ASP(Application Service Provider)とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しております。

注3: 経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しております。

サービスコンセプト: 俯瞰解析とは

- 大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化します。
- 俯瞰的な可視化により直感的に理解し、さらに指標化によって定量的に解析することが可能です。
- 意思決定・戦略構築(経営、マーケティング、R&D等)に資する知見を得ることが可能となります。

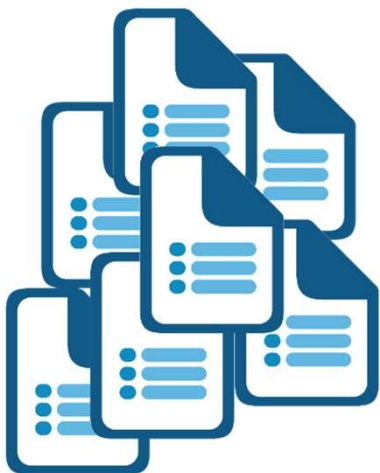
BIG DATA

CLUSTERING

VISUALISATION

ANALYTICS

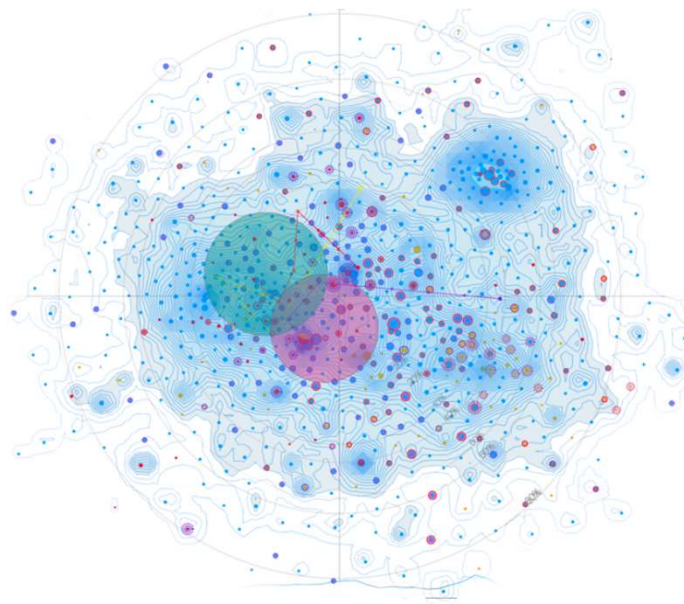
特許、論文、SNS、記事、
アニュアルレポート 等



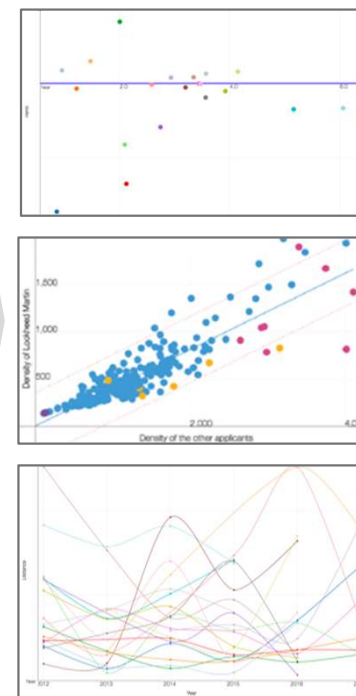
文書間の類似性に
基づいたクラスタリング



クラスター同士の類似性に
基づいた可視化



様々な指標化による
定量的な解析



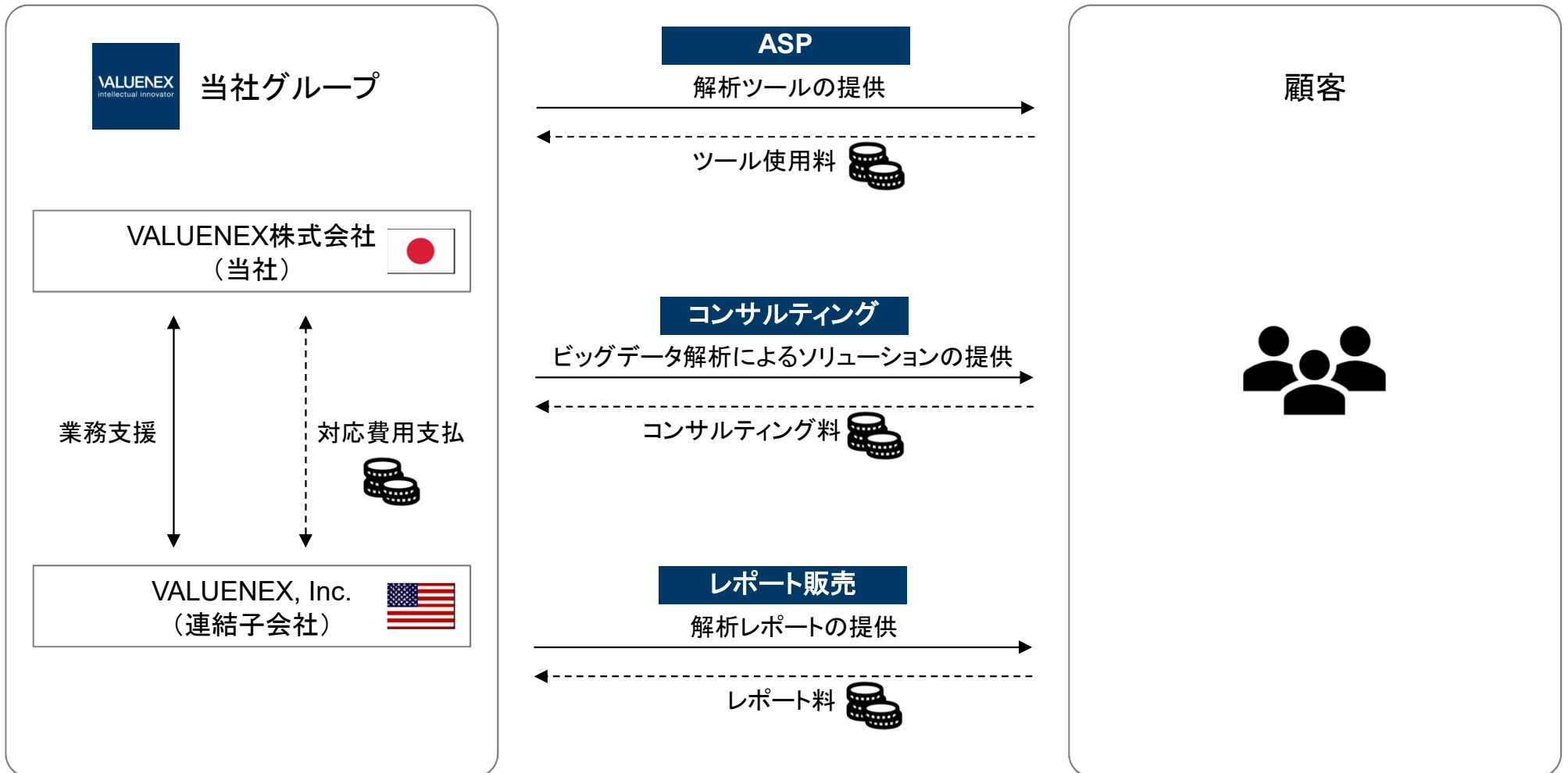
サービス概要

サービス分類			概要	主要対象顧客	対象文献	データベース
ASP	TechRadar	Scope	最大1,000件まで特許を高速可視化	特定の特許や技術の類似特許を検索・可視化したい方が対象	特許	付属
		Vision	最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象		
	DocRadar		最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学術論文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データを俯瞰解析したい方が対象	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど 	付属せず
コンサルティング			顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象		
レポート販売			当社が独自に調査・解析を行い、簡易レポートを提供			

事業モデル

————▶ サービスの流れ
 - - - - -▶ お金の流れ

事業モデル



1

事業概要

2

2019年7月期第3四半期業績報告

決算ハイライト

1	第3四半期累計の売上業績は前年同期に比して増加	<ul style="list-style-type: none">• 今期の第3四半期累計の連結売上は425百万円（前年同期405百万円から約5%増）• ただし、事業拡大及び上場に係る一時費用により、純損失は約68百万円（次ページ参照）
2	なかでも、ASPサービスの売上は前年同期比約45%の成長を堅持	<ul style="list-style-type: none">• ASPサービスの売上は約45%の成長率を達成（今期第3四半期161百万円、前年同期111百万円）
3	国内外の事業拡大に伴い、グローバルでの組織体制を引き続き強化	<ul style="list-style-type: none">• 国内15名、海外2名を採用^{注1}<ul style="list-style-type: none">✓ 事業本部長代理:1名✓ 営業担当:9名(2名)^{注2}、開発担当:3名、事業開発担当:1名、マーケティング担当:1名、経理担当1名、人事総務担当1名
4	米国の事業活動も堅調	<ul style="list-style-type: none">• 材料メーカーの大型コンサルティング案件を第3四半期に受注• スタートアップ探索をテーマとした事業を展開• 各種セミナーでリードを獲得



注1:2018年8月~2019年4月の期間で採用した人数です。

注2:括弧内は内数であり、海外採用の人数です。

第3四半期累計(2018年8月～2019年4月) 連結業績概要

売上高は約5%伸長しましたが、四半期純損失は事業拡大及び上場に係る一時費用により約68百万円の損失を計上する結果となりました。

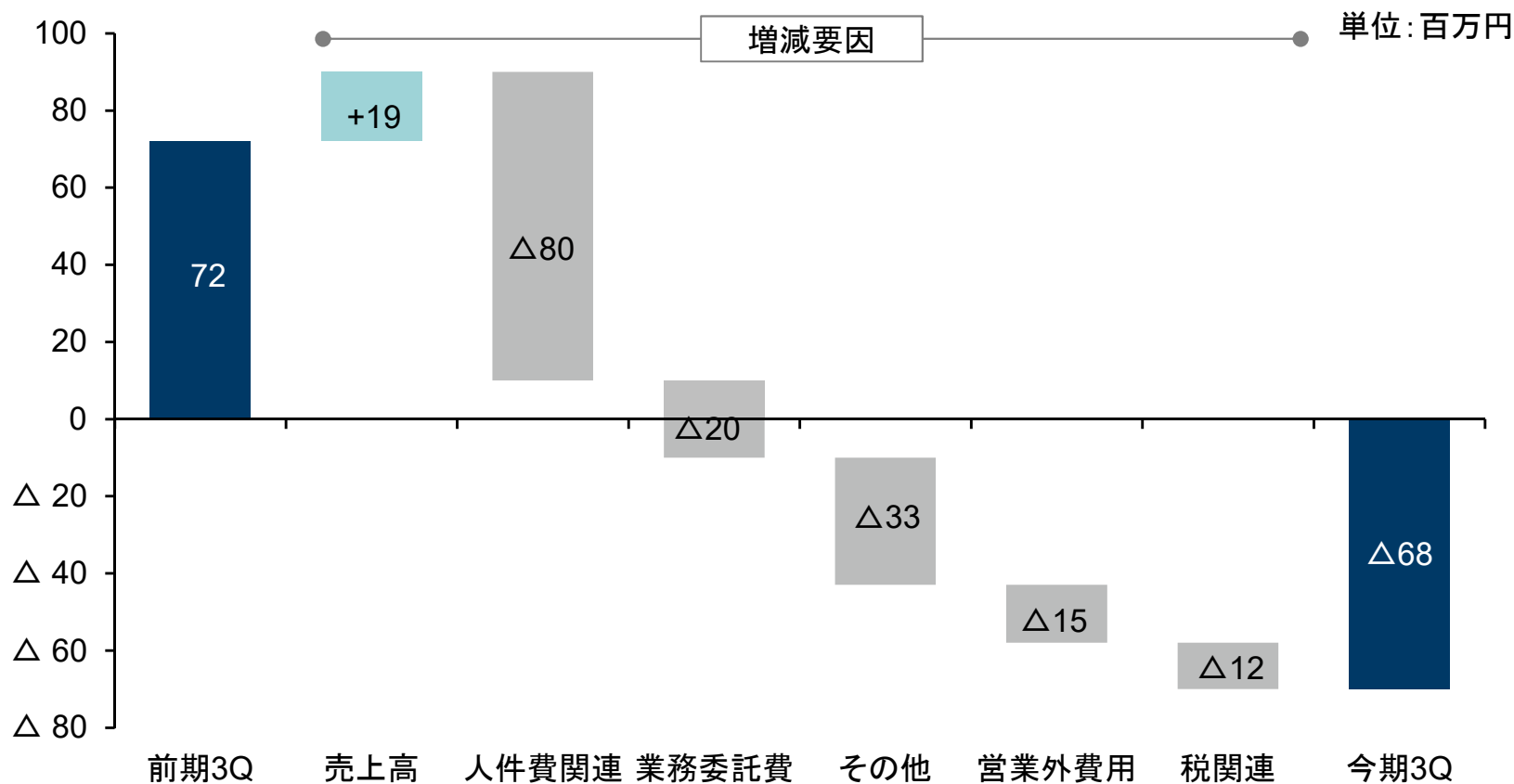
単位:百万円

	前期 第3四半期累計	当期 第3四半期累計	対前年同期比
売上高	405	425	19 
営業損益	78	▲38	▲117
営業外費用 (上場関連費用)	1	15	14
経常損益	79	▲53	▲133
法人税等	6	14	8
四半期純損益	72	▲68 	▲141

注:小数点処理のため、金額と対前年同期比の計算が一致しない場合がございます。

第3四半期累計純損失の変動要因 ～対前年同期比～

第3四半期累計純損失の増減要因



- 人件費関連(給与、採用費等)の増加は、事業拡大に伴って発生

- 業務委託費は、上場に伴う一時費用約13百万円(営業外費用とは別費用)など

- 「その他」の主な費用は下記のとおり
 - 通信費: 約6百万円
 - 地代家賃: 約5百万円
 - 支払手数料: 約5百万円
 - 広告宣伝費: 約4百万円
 - 支払報酬料: 約4百万円 等

- 営業外費用は、上場に伴う上場関連費用(約15百万円)
- 税関連で、法人税等(約8百万円)、租税公課(約4百万円)が発生

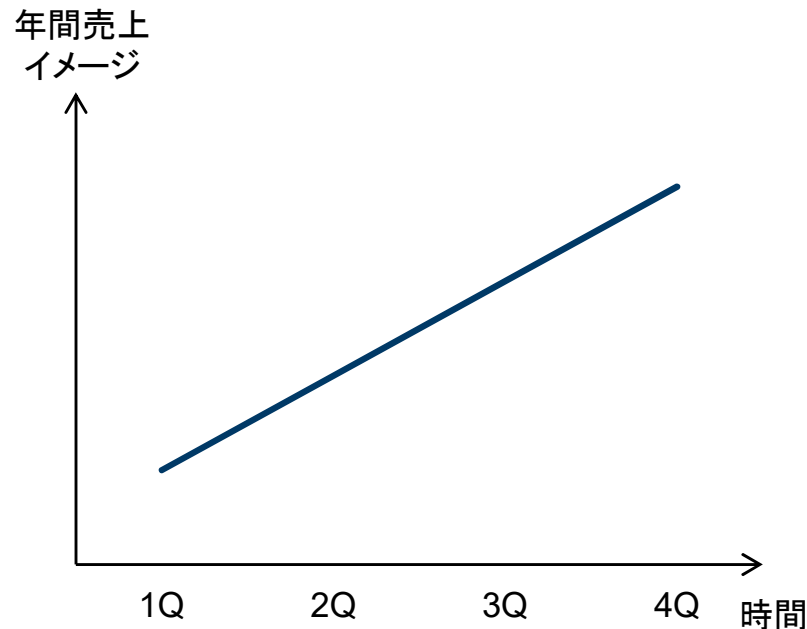
注: 小数点処理のため、差異内訳が合計と一致しない場合がございます。

売上構造について

当社グループの売上はASPとコンサルティングから構成されます。現状、連結売上に占める日本法人の割合が大きく、特に、コンサルティングは日本法人で例年3月に売上が集中する傾向にあるため、第3四半期に売上が増加する傾向にあります。

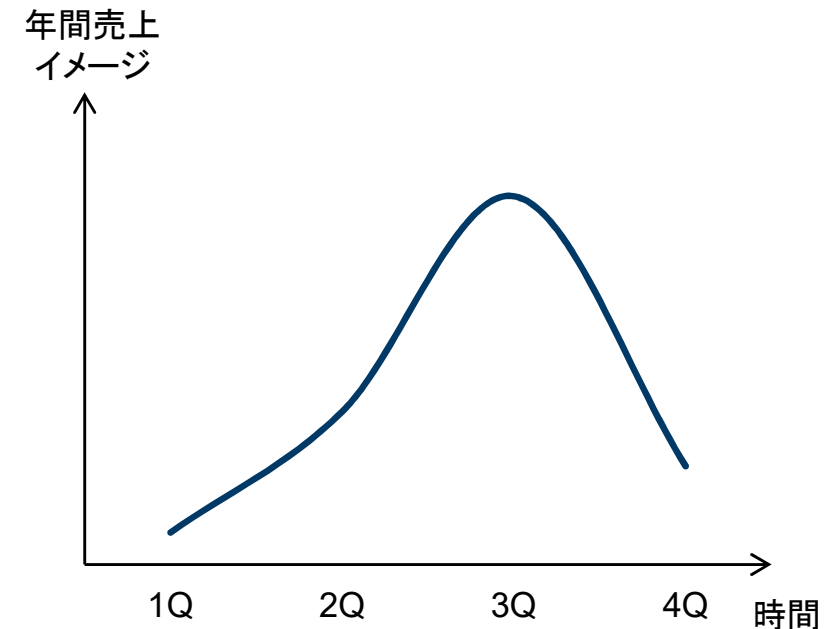
ASP

- SaaS^注ビジネスの特性上、ストック型(積み上げ)の売上モデルとなる



コンサルティング

- 国内の上場企業及び官公庁への納期が3月に集中するため、当社では第3四半期に売上の大部分が計上される傾向にある



現状ではコンサルティング売上のウェイトが大きいいため、利益ベースでは通年、第3四半期に黒字化していますが、今期3Q累計に関しては、事業拡大及び上場に係る一時費用により赤字となりました。

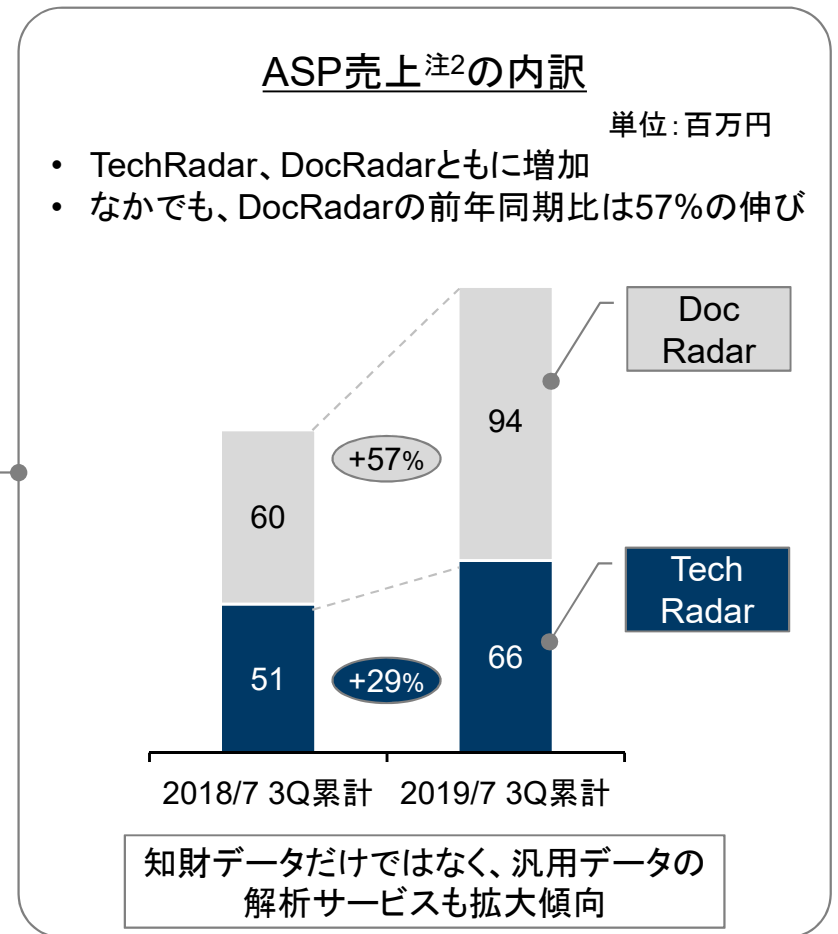
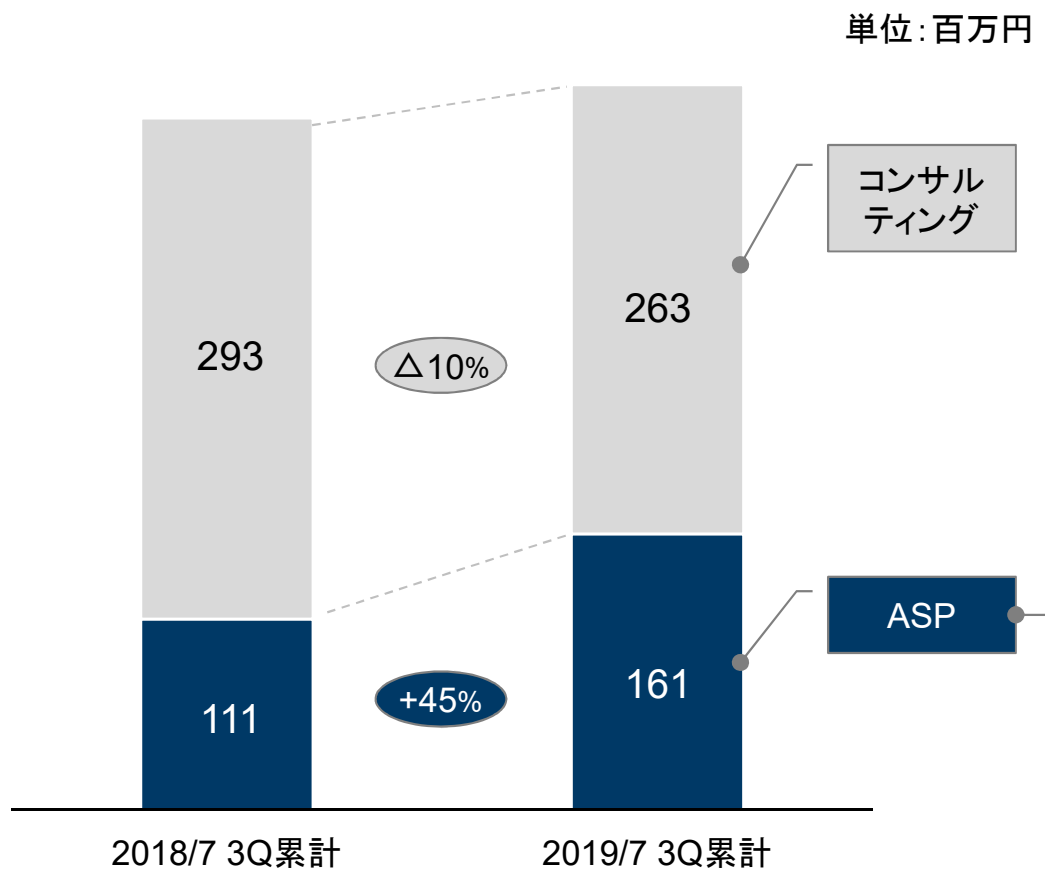
注: SaaS (Software as a service) とは、インターネットを経由してソフトウェアを利用するサービスのことを指します。

サービス別売上 ～第3四半期累計～

ASP売上が堅調に推移しており、特にDocRadarは前年同期比57%増加となりました。

サービス別の売上注1内訳

○ : 前年同期比



注1: 連結ベース

注2: ASPサービスの概要については、次ページをご参照ください。小数点処理のため、金額と増減率の計算が一致しない可能性があります。

注3: 小数点処理のため、差異内訳が合計と一致しない可能性があります。

VALUENEX, Inc. (米国) 第3四半期活動状況

売上

- 材料メーカーの大型コンサルティング案件を受注
- スタートアップ探索をテーマとした事業を展開
- 様々なカンファレンス・セミナーに主催/共催及び参加し、米国の有名企業 (Fortune 100) のパイプラインを強化

マーケティング

主催/共催した主なカンファレンス・セミナーは以下のとおり。

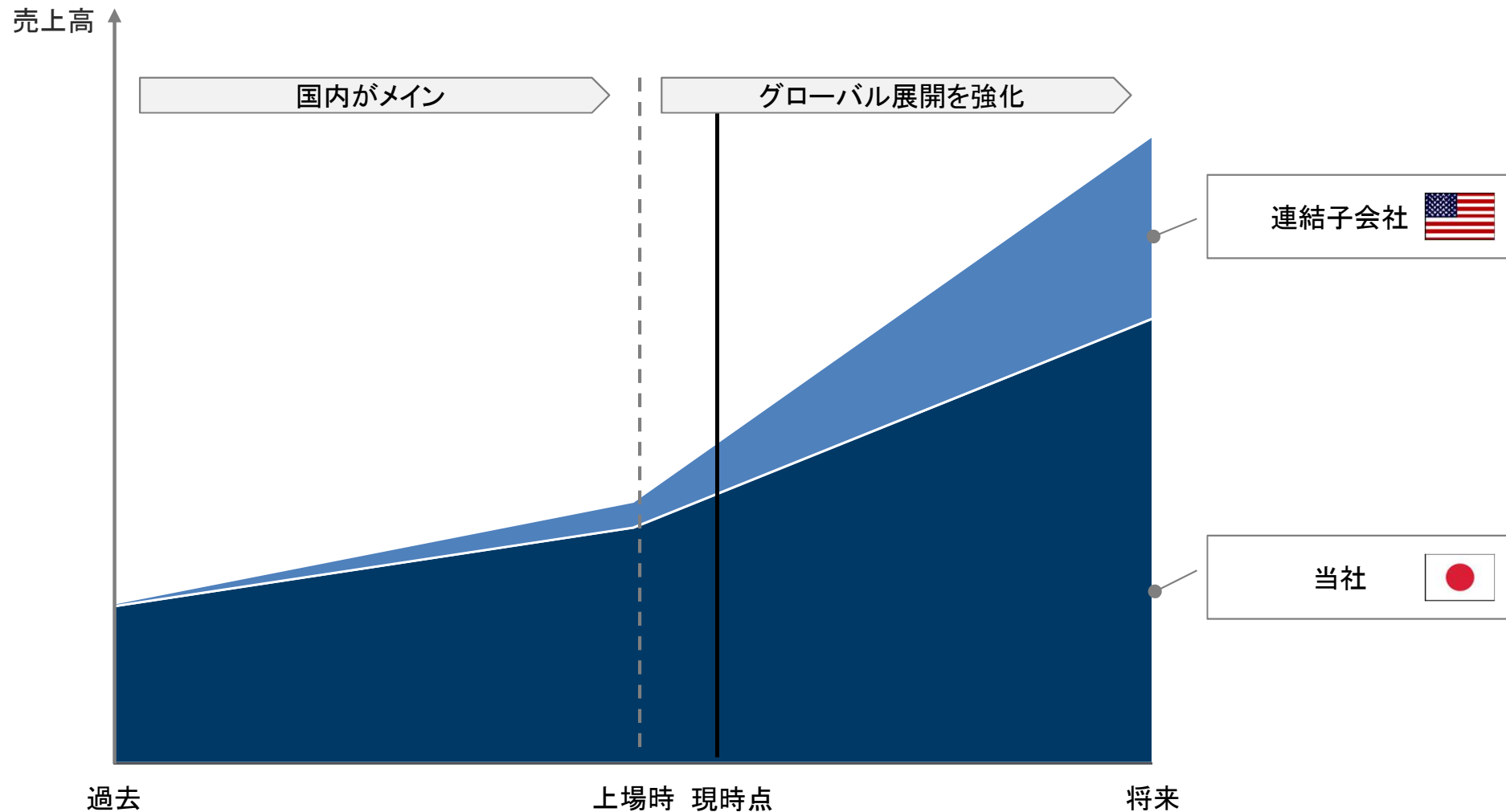
- VALUENEXセミナー (2019年2月11日、シリコンバレー)
 - シリコンバレーのPlug & Playにて当社のお客様を招待し、ユーザー視点での当社活動を紹介。シリコンバレー駐在の日系企業の社員が約60名が参加し、リードを獲得
- HALICON 2019: Healthcare Data Science & Emerging Tech Conference (2019年3月29日、ミネソタ州)
 - ヘルスケアカンファレンスにスポンサー及びスピーカーとして参加、ヘルスケア関連企業のリードを獲得
- Skaddenとの共同セミナー (2019年4月2日、シリコンバレー)
 - 米国において著名な法律事務所であるSkaddenと、ヘルスケア及びビックデータをテーマとした共同セミナーを開催し、シリコンバレーでのリードを獲得

表彰

- Japan-US Innovation Awards 2019 – Innovation Showcase受賞 (2019年5月22日)

今後の成長イメージ

国内市場に引き続き注力すると同時に、米国を中心とした海外に当社のASPサービス及びコンサルティングサービスを展開し、グループ全体の成長を図ります。



Find your Future on the Radar

VALUENEX
intellectual innovator

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

Appendix

会社概要

当社はデータマイニング及びデータ可視化技術等をコアコンピタンスとし、様々な意思決定・戦略構築に資する解析サービスを提供しています。

社名:	VALUENEX株式会社
事業内容:	アルゴリズム事業
設立:	2006年8月1日
所在地:	東京都文京区小日向 四丁目5番16号
資本金:	522百万円(2019年4月末時点)
連結子会社	VALUENEX, Inc.(100%子会社) ※在米国
従業員数:	22名(2019年4月時点) ※役員除く
役員:	中村 達生:代表取締役社長CEO 社長執行役員/博士(工学) 工藤 郁哉:取締役CFO 上席執行役員 コーポレート本部長/MBA 本多 克也:取締役 執行役員 研究開発本部長/博士(工学) 片桐 広貴:取締役 執行役員 ソリューション事業推進本部長/工学修士 鈴木 理晶:社外取締役/弁護士 松田 均 :社外常勤監査役/公認内部監査人 花堂 靖仁:社外監査役/大学名誉教授 宮内 宏 :社外監査役/弁護士

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

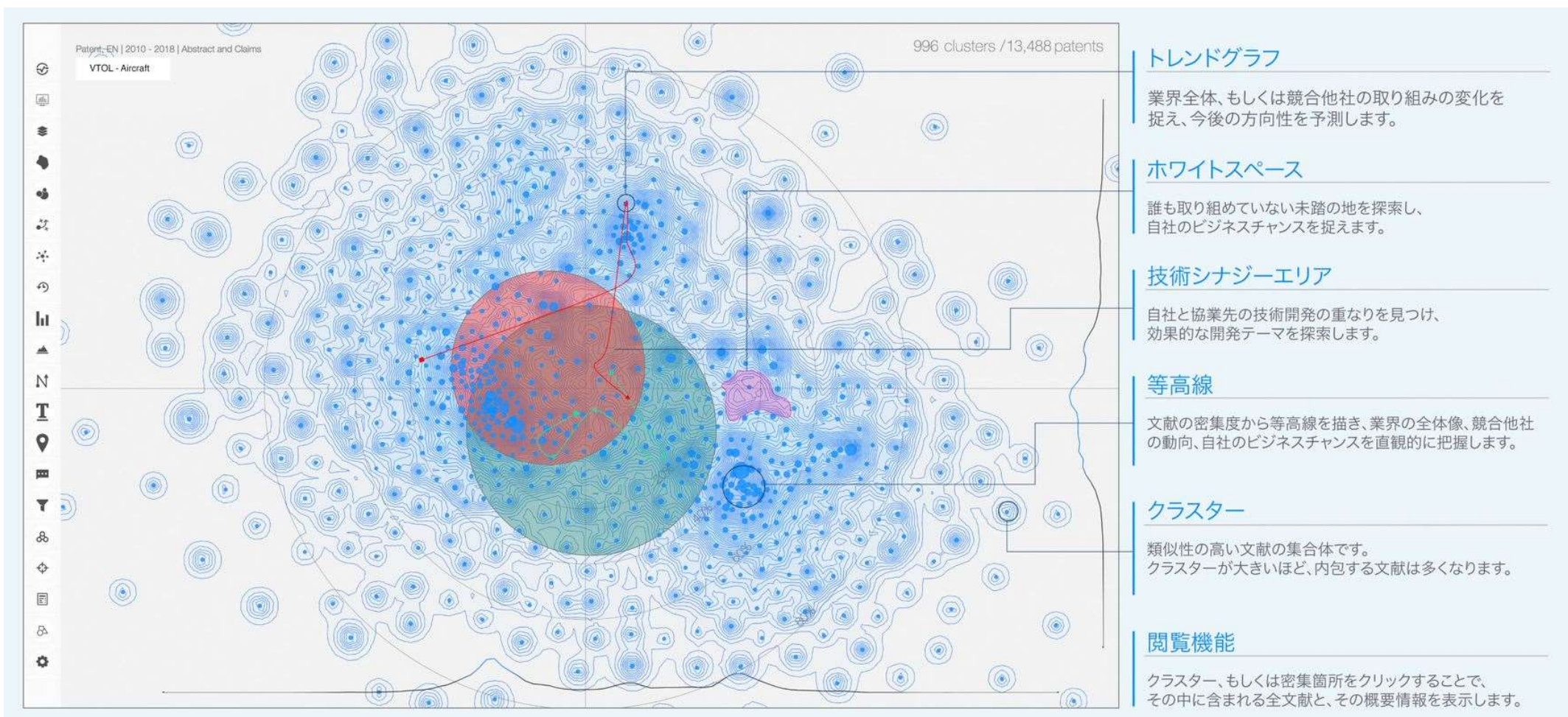
Vision

- 我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です
- 我々は、世界に認知される企業を目指します
- 我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します
- 我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します

当社ASPの検索・可視化イメージ

検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図(俯瞰図)

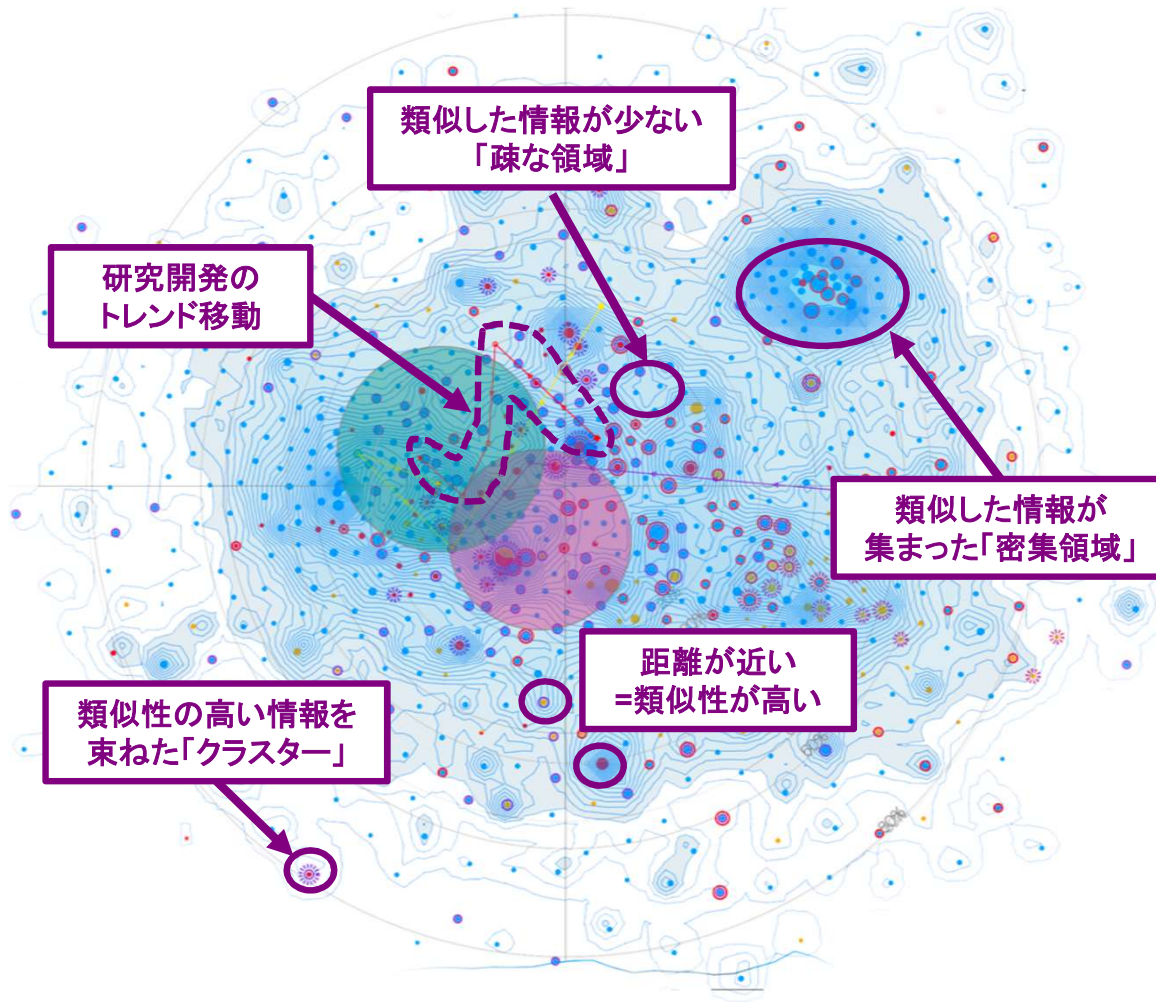


俯瞰図の読み方(詳細)

俯瞰図上の情報(距離、密度、分布、空白、萌芽等)から洞察を得ることが可能となります。

当社ASPのイメージ図(俯瞰図)

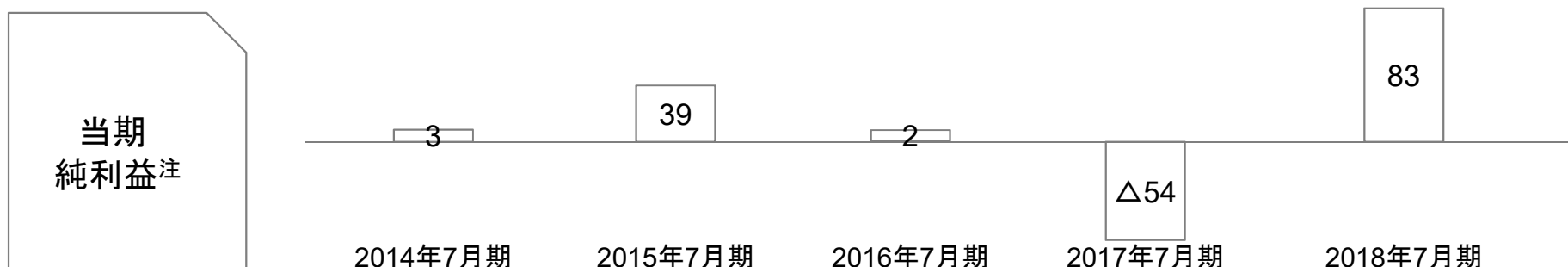
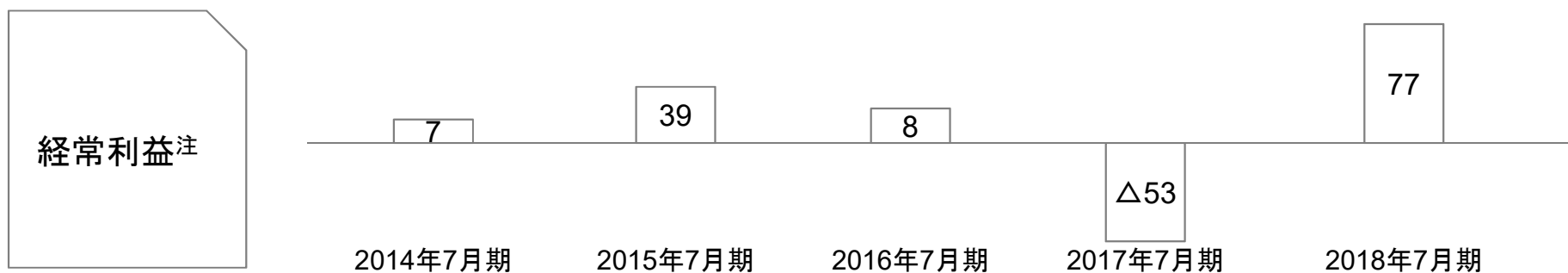
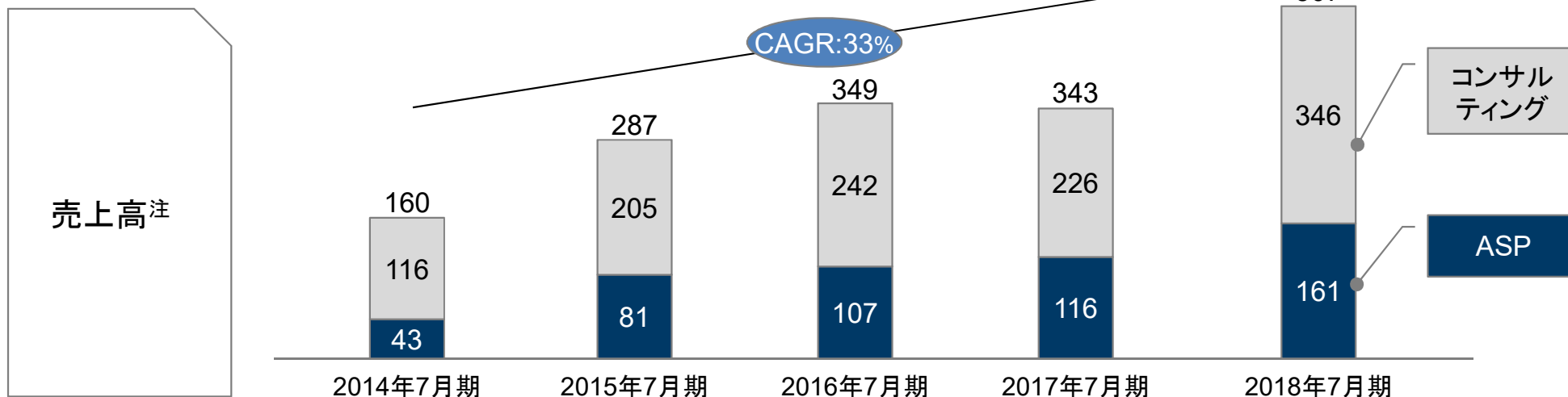
内容



- 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ
- ● クラスタの大きさは、含まれる文書の数に比例
- ● ● クラスタ間の距離は、クラスタ間の類似度を表現(似ているほど近い、似ていないほど遠い)
- ● ● XY軸が予め定義されているわけではなく、クラスタ同士の類似性が最適に表現できるように配置決定

業績推移

単位:百万円



注: ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます。また、小数点処理のため、売上内訳が合計と一致しない可能性がございます。
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。